



2022年11月28日

日本鉄道労働組合連合会

### 3産別共同行動【2022年秋冬・第1弾】～航空連合・サービス連合と連携！～

## 連合と意見交換 3産別の現状を伝え必要な政策を共有！

11月24日、JR連合は航空連合およびサービス連合とともに展開している3産別共同行動として、本年2月に続き、連合の実務担当者との意見交換を実施した。

連合からは村上陽子副事務局長をはじめ4名が、3産別からはJR連合・荻山市朗会長、航空連合・内藤晃会長、サービス連合・後藤常康会長ら計7名が出席した。



冒頭の挨拶で荻山会長は「ご利用が回復傾向にありJRは大丈夫と思う人もいるが、コロナ禍で長期債務が増大した。回復には時間を要するため中長期的な支援を頂きたい」と述べた。続いて、内藤会長は「航空も財務状況が大きく棄損した。人財不足も深刻で需要の増加をカバーできていない」、後藤会長は「旅行業や宿泊業には中小の事業者が多く、多額の借入で依然として厳しい状況にある」と深刻な現状を訴えた。

意見交換では、政所大祐事務局長から取り巻く情勢と課題認識を伝えるとともに、要望項目（枠内参照）を説明し、連合から質疑を受けた。続いて、村上副事務局長からは、政府分科会での議論や、人材確保に向けた見解が示された。最後に、航空連合・酒井雄介事務局長より「各産業の回復・成長には人の動きが不可欠である。人財の確保も含め、引き続き支援をお願いしたい」と締めくくった。また、意見交換の後には、連合・芳野友子会長と面会し、3産別が置かれた現状や要望項目を伝えた。

今後も3産別は力を結集して共同行動を積極的に展開し、交通運輸・観光サービス産業の早期回復と持続的成長の実現に向け取り組んでいく。

#### <産業の回復・持続的発展に向け必要な政策>

##### 1. 今後の感染症への対応

- (1) 「人の移動・交流」に制限を加えない感染症対策、雇用維持・事業継続の支援制度創設
- (2) 科学的な知見に基づく水際対策

##### 2. 「復興・回復」に向けた支援策の展開

- (1) 事業継続に必要な資金繰りに係る支援と借入金返済負担の軽減措置
- (2) 固定費負担の軽減措置、財政支援策
- (3) 雇用調整助成金制度、産業雇用安定助成金制度の活用機会の継続設定
- (4) 社会的要請に基づく投資、産業・地域の未来に繋がる投資を対象とした支援
- (5) 人財確保と育成に係る施策の展開と必要な財政支援
- (6) 人財確保と定着の観点からの学生支援
- (7) 個人の債務返済や生活に対する支援

##### 3. 「成長・拡大」に向けた持続的かつ安定的な支援策の展開

- (1) 持続的かつ安定的な需要喚起策の中長期的な継続展開
- (2) 国内旅行の活性化および外国人観光客の受け入れ拡大に向けた施策展開
- (3) 新しい働き方を促進する新時代の社会制度・環境の整備
- (4) 休暇取得の促進施策の中長期的な展開

